

浅草十二階と大正期の東京の空

大正 2 年 6 月 1 6 日、十二階から陸軍飛行機の試験飛行観測実施さる！

十二階はその高さゆえ日本の航空時代のあけぼのの証言者となった！

人と十二階と浅草の同時代的かかわりの中で

大正期、変わりゆく浅草十二階の姿を解き明かしま



特典 / 浅草十二階
立体パーペークラフト
先着 20 名様に進呈！

平成 1 4 年 7 月 2 8 日 (日)

1 3 : 3 0 ~ 1 7 : 0 0

(受付 1 3 : 1 0 ~)

会場 **生涯学習センター**

4 階 4 0 7 研修室

東京都台東区西浅草 3 - 2 5 - 1 6

電話 0 3 - 5 2 4 6 - 5 8 2 7

講師 **細馬宏通氏** 滋賀県立大学講師

専門はコミュニケーション論

著書に「浅草十二階」(青土社) 他

会費 **1,000 円**

申込 時代屋 / 台東区浅草 3 - 2 6 - 8

t e l 0 3 - 3 8 7 3 - 0 2 9 0

f a x 0 3 - 3 8 7 3 - 7 0 8 0

eメール jjidaiya@asakusa-e.com



内容紹介

明治末から大正時代、経営不振に陥っていた浅草十二階は無用物扱いされながらもその高さによってしばしば話題を提供した。過去の遺物と化した塔に人はどのような意味を見だし、塔をどのように語ったのだろうか。飛行機見物、投身自殺の流行、そして関東大震災前に掲げられた大看板。足下には入場料五銭の劇場と「十二階下」・・・大正ロマンのシンボルとしてしばしば取り上げられる浅草十二階のもう一つの姿を検証しながら、人と塔と浅草のかかわりについて語ります。第 1 回目以降に新たに収集した大正期の絵葉書や十二階の版画、新聞記事などの新資料も交えて豊富な図像を駆使し、立体的に大正期の浅草十二階の実像に迫ります。先着 20 名様に進呈の浅草十二階立体パーペークラフトは講師である細馬氏が自主制作されたものです。乞うご期待！！



主催 株式会社時代屋 / 「浅草い~とこ」 URL=<http://asakusa-e.com>

後援 (依頼中)

「浅草い~とこ」は時代屋が運営する浅草総合情報ウェブサイトです。

関連講演案内「浅草十二階とバルトンのいた明治」

8 月 3 日、1 3 : 5 0 ~ 1 4 : 5 0、学士会館 (神田) にて、入場無料